



Shimadian File #16

静岡県鳥獣保護員

藪崎公士 さん(67歳・御仮屋町)

しまだ

今回は、野鳥の観察や巣箱づくりを通して、小学生の子どもたちに「自然の中で、遊んで学ぶ楽しさ」を伝えている鳥博士、藪崎公士さんを紹介します。

感動の集まりが心の財産

「市内でも年間130種類くらいの鳥に出会える。ツバメだけでも何種類もいるよ。市民病院の屋上には、とっくり型の巣の『コシアカツバメ』、名前のとおり腰が赤いんだ。本通七丁目の商店街の軒下には、おわん型の巣を作る『ツバメ』、『イワツバメ』は、橋の下にマンションみたいに集団で巣を作るんだ」

「市内でも年間130種類なものが見えてくる。『あの鳥は何だろう？』から今度は『あの鳥が食べたいの？』と、次の好奇心が生まれる。遊びの中から子どもたちの探究心が育つきつかけになればうれしい」



◀白岩寺公園にもさまざまな野鳥がやって来ます

自然観察クラブ(五小)の子どもたちと▶



- ①モヤシは、たっぷりの水で軽くすすぎ、水気を切る。
②鶏ひき肉は、塩とこしょうを少々ふり、片栗粉をもみ込む。
③ゆずこしょうは、酒で溶いておく。
④フライパンにサラダ油をひいて中火で熱し、②を軽くほぐしながら炒める。色が変わったら、③を加えて混ぜ合わせる。
⑤全体がなじんだら、①と細ネギを加え、1~2分間炒め合わせる。

材料(4人分)

Table with 2 columns: Ingredient and Quantity. Includes items like Mo-yashi, Chicken mince, Yuzu kosho, etc.

提供:しまだ楽習センター 男の料理教室

モヤシと鶏ひきのゆずこしょう炒め (1人前 136 kcal)



りもう一品

発行/編集 島田市企画部秘書広報課

〒427-8501 島田市中中央町1番の1

0547-736-7118

「広報しまだ」は、環境にやさしい植物油100%のインクと、資源リサイクル推進のため再生紙を使用しています。

http://www.city.shimada.shizuoka.jp